

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年 1月10日

1. 職名・氏名 准教授・角田智詞

2. 学位 博士（理学）、専門分野 生態学、授与機関 首都大学東京、授与年 2014年

3. 教育活動

<p>(1)講義・演習・実験・実習</p> <p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 生物学実験（2単位）1年次 生物資源学概論（1単位）2年次 生態学Ⅱ（2単位）3年次 植物資源学実験（1単位）3年次 植物資源学演習（1単位）3年次 環境生物学実験（1単位）3年次 専攻演習（2単位）4年次 卒業論文（8単位）4年次 地域生態学（1単位）大学院生</p> <p>② 内容・ねらい 生物学実験では、トウモロコシの植え付けから収穫までを圃場で一貫して実施する中で、植物の生理特性や分類、同定、成長や収穫量の評価方法を学んでいる。 生態学Ⅱでは、生態学の基本的な概念と方法論について講義している。対象とする生物として、陸上生態系の中で種数やバイオマスが豊富な高等植物と節足動物に重きを置いて講義している。基礎科学としての生態学と応用科学としての生態学を相互に関連づけて説明している。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 生物学実験では、昨年度にデジタル推進委員会で導入していただいた小型無人航空機を用いた環境モニタリングを実施し、最先端の環境評価手法の実際を学んでもらっている。 生態学Ⅱでは、当日の講義内容に関連した実物の生物や標本をなるべく準備し、受講生がより具体的に理解できるように努めている。 地域生態学は2日間の集中講義として行なっているが、そのうち1日は敦賀市の中池見湿地でフィールドワークを行なっている。中池見湿地は、水どりの生息地として世界的に重要な湿地の保全に関する条約であるラムサール条約にも定められた湿地であるため、フィールドワークでは湿地の貴重な生物を観察し、保全に関して理解を深めている。また、もう1日の日程では、ゲストスピーカーとして京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林の石原正恵准教授をお招きし、地域社会と生物保全のつながりについて詳細に抗議していただいている。</p>
<p>(2)その他の教育活動</p> <p>卒業論文では、学生のレベルに応じて柔軟に指導している。今年度の卒業研究生の一人は、学年で一番成績が良く本人が主体的に行動できる学生だったため、研究課題を未来共同プラットフォームふくい推進事業（福井県版 PBL 支援分）として行なった。梅村信哉学芸員（福井市自然史博物館）や坂田ゆず博士（秋田県立大学生物資源科学部）、鈴木智之博士（東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林）と協働する中で、地域で分布拡大している外来昆虫と植物の関係性について理解を深めた。</p>

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書 角田智詞 (2023) 1.6 昆虫による地下部の食害. 小池孝良・塩尻かおり・中村誠宏・鎌田直人 (編著) 木本植物の被食防衛 - 変動環境下の戦略-. 共立出版. ISBN: 9784320058408	【1本】
② 学術論文 (査読あり)	【0本】
③ その他論文 (査読なし)	【0本】
④学会発表等 van Dam, N.M., Touw, A., Sontowski, R. & Tsunoda, T. (2022) Belowground battles in Brassicaceae. Molecular mechanisms of optimal glucosinolate allocation in roots under herbivore attack. The 26 th International Congress of Entomology, Helsinki 近藤一宏, 坂田ゆず, 鈴木智之, 梅村信哉 & 角田智詞 (2022) 外来昆虫シタバニハゴロモの利用植物は生育ステージで変化する. 第54回種生物学シンポジウム P12. 筑波 角田智詞 (2023) 変動環境下に福井で行う自然環境研究. 福井県自然保護関係機関連絡会議 令和4年度 活動事例発表会 基調講演. 福井	【3件】
⑤その他の公表実績	【0本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
科研費 (挑戦的研究 (萌芽)) 研究代表者. 2022年7月-2025年3月 公益財団法人旭硝子財団 環境フィールド研究分野・研究提案コース 研究代表者. 2022年4月-2024年3月 一般財団法人中辻創智社 2021年度研究費助成 研究代表者. 2021年6月-2023年3月 日本生命財団 若手研究・奨励研究助成 研究代表者. 2021年10月-2022年9月	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
日本生態学会英文誌タスクフォース委員	

5. 地域・社会貢献活動

福井県立武生東高校 探究型学習アドバイザー
福井県福井南高校 環境教育講演会講師

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

学生支援委員会委員

(3)学内行事への参加

オープンキャンパスへの参加

(4)その他、自発的活動など